

こんじゅう う 今週のことば「産む」

せいしょ ふくいんしょ
《聖書》ルカによる福音書 1:39-45

こどもう 子供を産む

ほりもんう
マリアの訪問を受けたエリサベトは、
こどもう なが くる
子供を産めなくて長いあいだ苦しんでい
れきし なか おお
ました。イスラエルの歴史の中でも、多
じょせい こどもう まわ
くの女性たちが、子供を産めなくて回り
しらぬみ
から白い目で見られました。

ふんぞく こどもう
イスラエル民族にとって子供を産むこ
ふた いき ひと
とには二つの意義がありました。一つは、
そうせい う ふ ちみ
創世記1:28の「産めよ、増えよ、地に満
い てんち そうぞう とき そうぞうしゅ
ちよ」と言う、天地創造の時の創造主の
めいれい こた
命令に答えることです。

ひと そうせい しゆ
もう一つは、創世記15:5の「主はアブ
そとつだい てん
ラハムを外に連れ出して言われた。『天
あお ほし かぞ
を仰いで、星を数えることができるなら、
かぞ い
数えてみるがよい』。そして言われた。
しそん
『あなたの子孫はこのようになる』」と
かみ やくそく しそん むすう ぞうか
いう神の約束どおり、子孫を無数に増加
させることです。

こどもう かみ
このように、子供を産めないことは神
けいかく はん さいあく かんが
の計画に反することであり、罪悪と考え

ため こどもう
られていました。その為に、子供を産め
じょせい は きも せいかつ
ない女性は恥ずかしい気持ちで生活しな
ければなりませんでした。

しかし、知恵の書4:1には「子がなく
とく ぼう か
ても、徳のある方がまさる」と書かれて
こどもう しゅくふく
おり、子供を産むことだけが祝福のし
つた
しでないことが伝えられています。

また、マタイによる福音書19:12では
てん くに けっこん もの
「天の国のために結婚しない者もいる」
べ
と伝えられています。

あいさつ

せいしょ で ふつう
聖書に出てくる「あいさつ」は、普通
あいて へいあん いの ことは
相手の平安（シャローム）を祈る言葉で

す。しかし、マリアのエリサベトへのあ
なが くる かいほう じょ
いさつは、長い苦しみから解放された女
せい たい しゅくふく ことは ふく
性に対する祝福の言葉が含まれています。
おお くる の こ ひと かみ
多くの苦しみを乗り越えた人ほど、神
めぐ つよ かん かみ やくそく
の恵みを強く感じるものです。神が約束
かなら まも しんこう つよ
を必ず守られるという信仰もそこから強
わたし かみ やくそく
められています。私たちも神の約束に
たい しんらい つよ
対する信頼を強めるようにしましょう。

たいこうせつだい しゅじつ ねん たきの
待降節第4主日C年（滝野）